



想像してはじめて気づく他者の不調やつらさ

「みえない多様性」ワークショップ at 慶應義塾大学

目に“みえない多様性”に寄り添う社会とは？

2022年 10月28日 金

18:10 ▶ 19:40

参加無料

会場

三田キャンパス 南校舎 411教室
(対面開催のみ)

対象

慶應義塾の大学生、大学院生

定員

40名(先着順)

※一次締切は10月20日(木)まで。

定員に満たなかった場合の二次締切は10月26日(水)まで。

他者の“見えないうつらさ”を想像する
カードゲームに
チャレンジ!



片頭痛、生理痛、腰痛…想像しにくい他人の不調やつらさ

「みえない多様性」とは？

多様性という言葉が当たり前に使われるようになり、目に見える多様性はすでに対応が進んでいることも多いですが、“目にみえない多様性”についての理解はなかなか難しいもの。

例えば、片頭痛や生理痛などの痛みや不調は、周囲の人には見えにくいことから理解してもらうことが難しく、人知れずつらさを我慢している人たちがいます。

いつも明るく元気な人が、今日はそっけない。「あれ？私、何かしたかな…」と不安になったけど、実は気圧の変化で頭痛に苦しんでいたのかもしれない。

そのような「みえない多様性」の存在を理解し、それに対応していくかを共に考え、相手の気持ちになって話し合うことで、自分や周囲の人々にそういった課題があった際に支え合い、寄り添う社会のあり方について考えます。



● お申込み <https://forms.gle/ULPwuxuVCuari3dJ6>

※要keio.jp認証
※参加方法の詳細は申込者へ開催日当日までにメールでご案内します

mediacom@info.keio.ac.jp

● お問い合わせ ●

※お問い合わせはメールアドレスおよびQRコードよりメールにて
お願いいたします



／ カードゲームで考える ／

想像してはじめて気づく他者の不調やつらさ

「みえない多様性」ワークショップ at 慶應義塾大学

目に“みえない多様性”に寄り添う社会とは？

2022年10月28日(金) 18:10▶19:40

参加無料

三田キャンパス 南校舎 411教室

対象：慶應義塾の大学生、大学院生（定員 最大40名、先着順）

当日プログラム 90分

1. 「みえない多様性PROJECT」のご紹介
2. 講義
みえない多様性の代表疾患(片頭痛)に関するレクチャー
3. グループワーク
他者の“みえないつらさ”を想像するカードゲーム

お申し込み方法 (要 keio.jp 認証)

<https://forms.gle/ULPWuxuVCuari3dJ6>

※参加方法の詳細は申込者へ開催日当日までにメールでご案内します
※一次締切は10月20日(木)まで。
定員に満たなかった場合の二次締切は10月26日(水)まで。



ご参加にあたっての注意事項

- 当日メディアによる取材・撮影が行われる可能性がありますので、事前にご了承ください。
- ワークショップ当日の内容は、テキストおよび動画・静止画にて記録し、日本イーライリリーの広報活動の目的で、関連ホームページ、ソーシャルメディアならびにマスメディアへの情報提供を含めて事後利用する可能性がありますので、事前にご了承ください。
- 今回は「みえない多様性PROJECT」初の大学生・大学院生を対象としたワークショップの開催となり、当日や実施後アンケート等にいただいたフィードバックを今後の活動に活用させていただく場合がありますので事前にご了承ください。
- 他の参加者に配慮し、本企画に関して、個人的なSNS等で情報を公開されることはご遠慮ください。

共催 慶應義塾大学メディア・コミュニケーション研究所 / 日本イーライリリー株式会社(製薬企業) / 協力:株式会社プラップジャパン

みえない多様性PROJECT

みえない多様性PROJECTとは？

詳しくはこちら



痛みや不調がみえない病気にもやさしい職場づくり

日本イーライリリーは、「世界中の人々のより豊かな人生のため、革新的医薬品に思いやりをこめて」を使命とし、製薬企業として、医薬品を通じた病気の治療のみならず、多様な疾患を抱える人々が暮らしやすい社会の実現にも取り組んでいます。

片頭痛や生理痛、腰痛などの痛みや不調は、周囲の人には見えにくいことから理解してもらうことが難しく、人知れずつらさを我慢している人たちがいます。日本イーライリリーは、このような“症状の可視化が難しく、つらさや支障の認知が低い健康課題”を「みえない多様性」と定義。

周囲に見えにくい健康課題によって、不安やつらさ、生きづらさを抱える当事者と周囲の人々が共に働きやすい職場づくりを目指し、他企業・自治体・専門家と共同で2020年に「みえない多様性PROJECT」を発足。

他者の多様な背景を想像するカードゲームを使ったワークショップを中心に取り組みを広めてきましたが、片頭痛や生理痛などのみえない健康課題は10代の頃から発症することも多いことから、職場のみならず学校や地域とも一緒に「みえない多様性」の存在を広めていきたいと考えています。

